

# ごみ処理施設から環境を守る施設へ エコパークしおや

今年一〇月一日から正式稼働した「エコパークしおや」は、塩谷広域圏の矢板市・さくら市・塩谷町・高根沢町から排出されたごみ（一般廃棄物）を処理する施設です。最新の設備や利用方法などについて塩谷広域行政組合施設整備室の迫田室長にお話を伺いました。

## ●施設の概要は

この施設は、平成二八年一二月から工事が始まり、二年九九月の歳月をかけて完成しました。「エコパークしおや」という名称は、塩谷広域行政組合で募集し、六四件の中から選ばれました。

施設の処理能力は一日に一一四トンの可燃ごみを処理する、エネルギー回収型廃棄物処理施設と、不燃ごみ、粗大ごみ、資源びんなど粗大ごみ、資源びんなど

どの処理・選別をするマテリアルリサイクル推進施設で構成されています。また、施設に隣接してごみを焼却した時に発生する熱を利用した余熱利用施設もありません。施設の寿命は一般的に三〇年と言われていますが、メンテナンスや使用の状況などにより変動します。

## ●搬入時間・料金は

平日は、八時三〇分から一七時まで、土曜日は八時三〇分から一七時までとなっております。日曜日や年始などの期間以外は搬入できません。直接施設へ搬入するときの料金は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみとも一〇〇円で、会社などから発生する事業系のごみは二〇〇円となっております。

## ●勤務体制・職員数は

可燃ごみを処理するエネルギー回収型廃棄物処理施設は、二四時間三六五日稼働しているため、交代制で勤務しています。



職員数は、マテリアルリサイクル推進施設の稼働などを含め日中で四〇人程度、夜間は四人で勤務しています。●夜間の人数が少ないですが 施設全体の設備や運転状況は中央制御室で

監視・操作しています。中央制御室では場内各所に置かれたカメラの映像や各機器のデータが集約されているので、少ない人数でも対応できます。ただ、監視システムの画面を見ている時間が長くなるため四時間ごとに他の業務にローテーションしています。

## ●設備の点検は

焼却炉などの機械設備の点検は、法で定められた期間内に検査を受けなくてはならないため、ごみの搬入量が少ない時期にクリーニングや整備をしています。また、定期的な自主点検を実施し、施設の稼働に支障が出ないように努めています。

## ●環境への配慮は

\*汚水処理 ごみ収集車などの洗

浄で発生した排水は、ごみと一緒に焼却され、施設の外に流れ出ることはありません。\*臭気について

ごみを収集車から降ろすときに臭気が発生することから、施設外に臭いが出ないように出入り口に自動ドアとエアカーテンが設置されています。

## \*煙の浄化

可燃ごみを焼却する際に発生するガスについては、活性炭や消石灰で発生する熱を利用して発電する蒸気タービン発電施設です。発電施設の発電量は最大一五三〇キロワットあり、一般家庭で一日に使用される電気量の約四四〇〇軒分に相当します。

●以前の施設との違い 一番の大きな違いは、可燃ごみを焼却した際に発生する熱を利用して発電する蒸気タービン発電施設です。発電施設の発電量は最大一五三〇キロワットあり、一般家庭で一日に使用される電気量の約四四〇〇軒分に相当します。発電された電気は施設全体の運転に使用したり、余った電気は電力会社へ売られています。



蒸気タービン発電機

また、ごみを降ろすプラットフォーム内に小型計量機を導入しました。これまでの施設では、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなどを一度に持って来た際、降ろすたびに何度も計量機に乗っていましたが「エコパークしおや」では、計量機で種別ごとに計量ができるようにして搬入される方の利便性を高めています。

## ●余熱利用施設とは

可燃ごみを焼却した際の熱を利用する施設です。蒸気タービンによる発電を行っている



温浴施設

ため、多くの熱を利用することができないので温浴施設のみとなっています。

## 温浴施設には浴室、歩行浴（水着着用）のほか、フィットネスルームや休憩室があります。

利用料はどなたでもすべて無料で、一〇時から二〇時まで利用することができます。

## ●啓発施設とは

各家庭から出されたごみの処理やリサイクルの流れを学習することができ、施設見学の際にもリサイクル工房があります。



リサイクル工房

リサイクル工房には、IHクッキングヒーターや流し台、調理テーブルなどがあり、エコクッキング教室のほか、リサイクルや環境に関する講座などを開催することがあります。



リサイクル工作室

また、ごみを降ろすプラットフォーム内に小型計量機を導入しました。これまでの施設では、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなどを一度に持って来た際、降ろすたびに何度も計量機に乗っていましたが「エコパークしおや」では、計量機で種別ごとに計量ができるようにして搬入される方の利便性を高めています。



また、災害時は廃棄物の仮置き場として利用することができます。なお、利用する際には事前に申し込みが必要です。●施設西側の緑地は 多目的広場として開放しています。皆さんにエコパークしおやが身近に親しめる施設になってほしいと思っています。また、災害時は廃棄物の仮置き場として利用することができます。なお、利用する際には事前に申し込みが必要です。

まな工具を貸し出してあるので、自宅からイスや本棚など修理したいものを持ち込んで直すことができます。

## (記者の感想)

新しく稼働したエコパークしおやは、ごみ処理場というイメージから程遠い外観や周囲の環境に配慮した設備などのほか、啓発施設による学習や見学などもできて、いろいろ知ることができそうです。

環境への負荷を少なくしたいと思います。皆さんもぜひエコパークしおやを見学して環境について学んでみてはいかがでしょうか？ (M・W) (K・H) (M・K)



エコパークしおや全景

【ごみ搬入】  
エコパークしおや  
電話…(四六)五七一一

【施設利用】  
エコパークしおや管理事務所  
電話…(五三)七三七〇

【余熱利用施設】  
エコパークしおや余熱利用施設  
電話…(四七)七八七八